

## 一人ひとりの未来を支える生涯発達支援学校 ～健やかな心と体を育む支援をデザインする～

2年次

本校は「一人ひとりの未来を支える生涯発達支援学校 ～健やかな心と体を育む支援をデザインする～」を主題とした研究を進めております。2年目の今年度は、生涯にわたる「健やかな心と体」を育むため、世界保健機関(WHO)が提唱するWHO-QOL(Quality of Life)の考え方に基づいて、各学部段階で支援の検討を行っております。

つきましては、下記の通り研究協議会を開催いたします。ご多用のことと存じますが、多くの方のご参加をお待ちしております。

◆日時: 令和4年1月28日(金)12:30～17:00

◆方法: オンライン開催(Zoom利用)

◆日程:



12:30～13:00	13:00～13:30	13:30～13:40	13:40～15:10	15:10～15:20	15:20～16:50	16:50～17:00
受付 入室確認	開会挨拶 研究概要	準備・休憩	各学部 分科会	準備・休憩	講演会	閉会挨拶 諸連絡

### ○ 幼児期の「健やかな心と体を育む支援」を考える

幼稚部

幼児期は身近な“もの”や“人”に関わりながら多くの成長をみせるが、個々の経験や障害により発達の個人差も大きくあらわれる。幼稚部では子どもたち一人ひとりの育ちを踏まえて、QOLの視点からニーズをさぐり、「個別教育計画」を活用して遊びや生活の中で支援を行ってきた。分科会では幼稚部の支援を話題に「健やかな心と体を育む支援」について協議を深めたい。

【共同研究者: 大伴 潔 橋本 創一】

### ○ QOLの視点をを用いた授業づくり

小学部

小学部では、QOLの視点から、日々実践している授業の整理および授業づくりを試みる。QOLの視点と本校の教育課程とを照らし合わせて各教科を整理し、改めて意味付けることで、小学部段階におけるQOLを捉え、今後の実践および授業づくりに活かしたい。ターゲット授業として、小学部6年間で一貫して取り組む「自分の成長を見つめるポートフォリオづくり」の実践を取り上げる。

【共同研究者: 大鹿 綾 田中 美歩 村山 拓】

### ○ QOLの視点からみた農耕作業学習

中学部

今年度は、農耕作業学習での実践を通して、授業の目的や活動内容とQOLの関り方を検討し、今後生徒自身のQOLを検討する際の礎とする。授業内容をQOLの視点から整理することで、QOLに関する授業の強みを活かした授業実践や授業改善を行う。さらに、QOLは自立活動と関連している項目もあり、自立活動との関連という視点も取り入れて授業を整理する。

【共同研究者: 小林 巖 澤 隆史 村尾 愛美】

### ○ 卒業後を見据えたQOLの向上につなげる高等部での支援

高等部

学校教育の出口である高等部段階の教育を実践する上で、QOLの考え方は非常に示唆に富むものである。高等部では、QOLモジュールにおける「側面(facet)」と全ての授業との関わりを整理し、充実に向けた検討を行った。中でも将来の生活に関連が深く潜在力があると考えられる「暮らし(生活知識)」の授業実践について話題提示し、議論を深めたい。

【共同研究者: 池田 一成 奥住 秀之 平田 正吾】

## 校長挨拶



学校長 藤野博

本校は「生涯発達支援」を理想として掲げ、それを実現するための学校や授業のあり方について研究を進めてまいりました。昨年度はコロナ禍により研究協議会を行いませんでしたが、今年度はオンラインで開催いたします。発達障害、知的障害の人たちのコミュニティベースの発達支援について実践と研究をなさっている日戸由刈先生の講演もございます。多くの皆様にご参加いただき、ご指導ご助言を賜りますようご案内申し上げます。

## 講演

### 知的障害の人たちの青年期以降のライフスタイルを考える ーインクルーシブな生涯学習を目指してー 日戸由刈 氏（相模女子大学 人間心理学科 教授）



日戸由刈 氏

一般に学校教育を修了した若者が地域の中で充実した生活を過ごすためには、家庭や職場のほかに、コミュニティの核となる「とびきり居心地よい場所」の存在が必要です。発達障害や知的障害の若者の多くは、同世代の定型発達者と対等な仲間・友人関係を築くことが困難であり、自らこうした居場所に出向くことが出来ずにいます。相模原市で行政と大学が連携して取り組んでいる「インクルーシブな生涯学習プログラム」を紹介し、青年期以降の支援のあり方について、コミュニティケアという視点から考えたいと思います。

### <申し込み方法>

「web申し込みフォーム」をご用意しておりますので、下記のQRコードもしくは本校ホームページからお申し込みください。

締切は令和4年1月20日（木）です。締切日以降は下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

※参加者定員(300名)に達し次第、締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。

●本校ホームページ <http://www.u-gakugei.ac.jp/~tokushi/>

### <参加費>

参加費…… 無料

▶ お申し込みはこちら



### <問い合わせ先>

東京学芸大学附属特別支援学校 〒203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1

Tel:042-471-5274 Fax:042-471-5275

Email: [sskenkyu@u-gakugei.ac.jp](mailto:sskenkyu@u-gakugei.ac.jp)

URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~tokushi/>

研究主任 鈴木和也